

# 環境教育 小学校



小学校中・高学年 社会・総合  
ど～する？地球のあした  
海のゴミから地球が見える

🕒 15分

## 身近なことから地球のことへ 環境教育をこの番組から始めよう！

いよいよ新しい学年での学習がスタート。「今年は環境教育に取り組んでみたい」「子どもたちの学びがしっかり深まるような環境教育をしたい」そんな時、とても役に立つのが、この番組「海のゴミから地球が見える」です。番組を活用することで、身近なことから、地球全体を考える環境問題へと、自然に子どもたちの見方・考え方・感じ方を広げることができ、豊かな学びへとつなげることができます。

### 番組活用のポイント

#### 環境教育のスタートに

「今年は、環境教育に取り組みたい。しっかり力をつけ、見方・考え方・感じ方を広げる学習活動をしたい。」スタートにあたり、こんな悩みをもつことが多いと思います。そんな時、活用できるのが、今から紹介する「海のゴミから地球が見える」です。番組の導入から、興味・関心を引き、どんどん子どもたちを引き込んでいきます。そして、気がついたら「ど～する？ 私たち何かしないと…」というように環境問題について意識が高まっていく構成になっています。



愛媛県西条市立石根小学校  
教諭 山内雅博

#### 自分と環境問題とのつながりを意識させる

この番組は、環境教育の大事な視点の一つである、身近な環境問題から地球規模の大きな問題へとという「つながり」を、自然に子どもたちに意識させることができます。自分たちにとって身近なゴミのことからスタートして、それが地球の環境に大きな影響を与えていることや、環境問題の解決のために努力している人々の紹介を通して、自分たちができることは何かを考えることができる内容です。



ゴミだらけの干潟

#### 人の思いを伝える番組内容

番組からは「人の思い」が伝わってきます。出来事や事実、結果と原因にかかわり、何とかしようとしている人たちの思いや行動を知るとは、学校の中だけでは、難しいことです。それを、子どもたちに映像でわかりやすく伝え、自分たちができることは何か、どんなことをしていかないといけないのかということまで、投げかけてくれます。

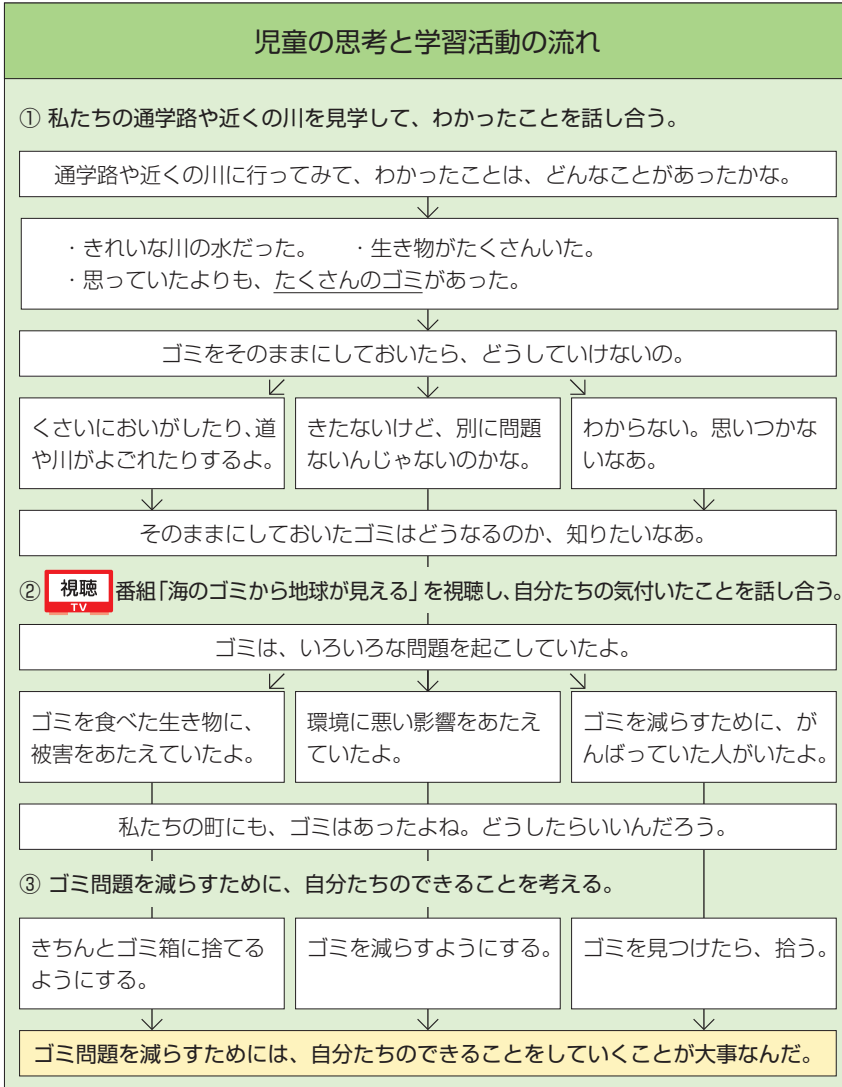


干潟に捨てられていた自動車

環境教育

学習展開例

(ねらい) ゴミ問題を減らすために、自分たちができることはどんなことがあるか、考えることができる。



ゴミが原因で死んでしまったスナメリ



生き物はゴミを拾うことができない



みんなができることは、なんだろう



ゴミを拾い始めた子どもたち

より効果的に番組を活用するために

体験から番組へつなげていく

番組視聴前に、校区の見学や清掃活動を行い、気付いたことを話し合う活動を行います。また、運動場で拾ってきたゴミを見せて、ゴミ問題を考える中で、番組を取り入れることも効果的です。体験活動を取り入れることで、よりいっそう学習が深まります。

自ら考える学習活動へと広がっていく

番組視聴後に、自分たちの住んでいる地域は、本当にゴミがあるのかどうか、実際に調べに行き、そこでの気づきを学習に取り入れていくという展開や、地域の清掃工場の見学に行き、ゴミ問題についてさらに考えていくという学習も効果的です。番組をスタートにして、自ら考える学習活動へと広がっていきます。